

(7) 財団法人 とっとりコンベンションビューロー 経営状況報告書

一 法人の概要

- | | | |
|---|---------|--|
| 1 | 名 称 | 財団法人 とっとりコンベンションビューロー |
| 2 | 目 的 | 鳥取県の有する優れた自然、歴史的・文化的資源を生かし、コンベンションの誘致・支援等を行うことにより、鳥取県におけるコンベンションの振興を図り、もって県内産業の振興、地域の活性化、国際的な相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。 |
| 3 | 設立許可年月日 | 平成7年7月7日 |
| 4 | 設立登記年月日 | 平成7年7月7日 |
| 5 | 基 本 財 産 | 出えん金 972,142,000円
鳥取県出えん金 500,000,000円
4市出えん金 250,000,000円
そ の 他 222,142,000円 |
| 6 | 役 員 | 理 事 20人 監 事 2人
理 事 長 永 瀬 正 治 (米子商工会議所会頭)
副理事長 井 藤 久 雄 (国立大学法人鳥取大学医学部長)
専務理事 長谷川 泰 二
理 事 岡 本 範 道 (鳥取環境大学常務理事)
" 山 根 昭 彦 (氷温学会専務理事)
" 柴 田 英 杞 (財団法人鳥取県文化振興財団副理事長)
" おそど まさこ (社団法人鳥取県観光連盟観光プロデューサー)
" 川 上 優 (西日本旅客鉄道株式会社執行役員米子支社長)
" 福 本 有 希 子 (有限会社白扇専務取締役)
" 清 水 雅 文 (財団法人とっとりコンベンションビューロー中部地区企画運営委員会代表)
" 野 坂 道 明 (財団法人とっとりコンベンションビューロー西部地区企画運営委員会代表) |

理事 澤 健 一 (財団法人とっとりコンベンションビュ
ーロー東部地区企画運営委員会代表)

〃 澤 耕 司 (日本交通株式会社常務取締役)

〃 吉 田 圭 子 (株式会社赤瓦取締役)

〃 吉 野 立 (田園プロジェクト代表)

〃 青 木 由 行 (鳥取県文化観光局長)

〃 大 西 康 隆 (鳥取市経済観光部長)

〃 深 田 佳 洋 (倉吉市産業部長)

〃 植 田 收 (米子市経済部長)

〃 松 本 健 治 (境港市産業環境部長)

監 事 高 橋 敬 一 (有限会社高橋会計事務所代表取締役社
長)

〃 入 澤 睦 美 (米子市収入役)

7 職 員 25人 (うち県派遣職員 1人)

8 事 務 所 米子市末広町294番地

二 平成17年度事業実施状況

1 組織体制の見直し

「組織のありかた検討委員会」の答申に従い、理事会の人員構成の見直しと評議員会の設置を行い、戦略的誘致活動への転換、事業領域の拡大、より戦略的な組織への転換を図るため、理事会に経営戦略会議を設置した。

2 コンベンションの誘致及び支援事業

県外のコンベンション主催者及び県内の大学・団体・行政等の関係者に対して誘致セールスを行うとともに、県内で開催されたコンベンションに対する開催経費の助成やパンフレットの提供、コンベンションボランティアの派遣など、各種支援サービスを提供した。

また、鳥取県人会、高等学校同窓会等との個別懇談を行い、コンベンションの鳥取県開催についての情報交換、協力要請を行った。

3 コンベンションの調査及び企画事業

コンベンション開催意向調査等の情報収集、経済的波及効果の推計調査を行うとともに、県民にコンベンションの有用性を広く普及するためのコンベンションまつり、地域の特色を活かしたテーマに基づき自主企画コンベンションを開催する企画運営委員会の活動など、各種事業を開催した。

4 広報及び宣伝事業

機関紙の発行、広報記事の掲載等、県内コンベンション主催者へのDM発送など、各種広報宣伝活動を展開した。

5 米子コンベンションセンターの管理運営に関する事業

(1) 施設を常に最良の状態を利用に供するために施設、設備のメンテナンスを的確に行い、安全対策に万全を期すために施設の安全点検及び防火訓練を実施した。

また、利用者等の意見や問題事案を検討する職員の委員会を設立し、積極的に会館運営に反映させた。

(2) 平成17年度における代表的な大規模催事

- ・トライアスロン開閉会式（7月16日～18日）
- ・中部日本整形外科災害外科学会（10月6日～7日）
- ・第17回全国生涯学習フェスティバル（10月9日～15日）

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
支 出	I 管理費	57,342,000	57,133,830	208,170	
	1 職員人件費	48,385,000	48,330,798	54,202	
	2 会議費	357,000	291,435	65,565	
	3 事務局費	8,600,000	8,511,597	88,403	
	II 事業費	44,135,000	43,482,372	652,628	
	1 誘致事業費	13,295,000 △ 200,000	12,635,963	459,037	コンベンション 開催助成費へ 200,000円
	2 調査企画事業費	6,017,000 △ 18,008	5,805,401	193,591	広報宣伝事業費へ 18,008円
	3 広報宣伝事業費	5,283,000 18,008	5,301,008	0	調査企画事業費 より 18,008円
	4 コンベンション開催助 成費	19,540,000 200,000	19,740,000	0	誘致事業費より 200,000円
	当期支出合計(C)	101,477,000	100,616,202	860,798	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(一般会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I 流動資産	7,971,565	I 負債	7,971,565
1 現金預金	5,805,065	1 流動負債	7,971,565
(1) 普通預金	5,805,065	(1) 未払金	4,319,928
2 未収金	2,166,500	(2) 預り金	3,651,637
II 固定資産	973,818,588	II 正味財産	973,818,588
1 基本財産	972,142,000	(うち基本金)	(972,142,000)
(1) 基本財産普通預金	1,657,921	(当期正味財産減少額)	(△ 334,941)
(2) 基本財産定期預金	60,000,000		
(3) 基本財産投資有価証券	910,484,079		
2 その他の固定資産	1,676,588		
(1) 電話加入権	224,952		
(2) 車両運搬具	399,294		
(3) ソフトウェア	888,248		
(4) 什器備品	164,094		
合 計	981,790,153	合 計	981,790,153

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I 流動資産	57,073,032	I 負債	57,073,032
1 現金預金	51,076,806	1 流動負債	57,073,032
(1) 現金	164,880	(1) 預り金	35,164,542
(2) 普通預金	50,911,926	(2) 未払金	14,906,380
2 未収金	5,996,226	(3) 前受金	7,002,110
		II 正味財産	0
		(当期正味財産増加額)	(0)
合 計	57,073,032	合 計	57,073,032

三 平成18年度事業計画

1 基本方針

平成17年度に創立10周年を迎え、組織体制の一新を図った平成17年度を当財団の新たなスタートの年度として位置づけ、平成18年度はこの体制をより強固かつ機能的なものとし、コンベンション誘致及び米子コンベンションセンターの運営を中心とした業務の推進に役員、職員が一丸となって取り組む。

また、近年のコンベンション誘致の競争激化、公の施設の指定管理者制度導入など、財団を取り巻く環境の変化に対応するため、より戦略的な組織への転換、事業の効果的実施を目指す。

- (1) 組織体制の強化
- (2) 誘致・開催支援活動の拡充
- (3) コンベンション企画・プロデュースの推進
- (4) 情報発信力の強化
- (5) 交流拠点である米子コンベンションセンターの効率的な管理運営

2 主要事業

(1) 組織体制の強化

平成16年度に設置した「組織のありかた検討委員会」の答申を尊重し、今後、より戦略的なコンベンションビューローへの転換を図るため、財団の組織改革及び事業拡大を行う。

① 理事会の活性化

平成17年度に人員構成を大幅に見直した理事会が、経営戦略会議等と連携して財団の発展に向けてスピーディーかつ建設的な意志決定を行えるよう、事務局でサポートを行う。

② 誘致推進体制の見直し

誘致部門職員を一つの課に統合し、総動員体制を整え、限られた職員数でより機動的・効果的な誘致セールス及び事業の企画立案を行えるようにする。

③ センター組織の見直し

2課1室体制から2課制に組織のスリム化を行い、利用促進業務と顧客管理業務を統合して組織の効率化を推進する。

(2) 誘致・開催支援活動の拡充

現在行っている誘致活動をより一層充実させるとともに、平成17年度に引き続き対象分野を拡大し、コンベンション誘致をより一層推進する。

[今後拡充が見込まれる分野]

- ・福祉・スポーツコンベンション
- ・国際コンベンション
- ・企業コンベンション 等

① 誘致セールス

首都圏を中心に各種団体への誘致セールスを行うとともに、県内キーパーソンを訪問し、コンベンションの鳥取県誘致を要請する。

② 誘致促進事業

鳥取県人会等との個別懇談を行い、コンベンションの鳥取県開催についての情報収集、協力要請を行う。

また、県外のコンベンション主催者を招致し、県内の会議・宿泊等の各施設を案内し、コンベンションの鳥取県開催を要請する。

③ 開催支援事業

鳥取県開催コンベンションの円滑な運営を支援するため、主催者への財的・物的支援、情報の提供等を行う。

(3) コンベンション企画・プロデュースの推進

コンベンション誘致や企画の素案はあるが、知識や経験・人材不足のため開催に至らないものに対して、当財団が事務局ノウハウや企画の組み立て方をアドバイスすることにより、鳥取県開催のコンベンションを誘発する。

① コンベンション事務局運営支援事業

コンベンション開催の決定は、県内の主催団体（支部等）の受入意思によるところが大きい。これらの団体を対象に研修会を開催し、開催マニュアルを作成して事務局運営の知識やノウハウを伝播することにより、主催団体のコンベンション開催の意欲の醸成を行う。

(4) 情報発信力の強化

既存の広報宣伝ツールの充実強化に努めるとともに、財団の活動やコンベンション開催支援制度の紹介など、ホームページを中心とした情報発信力の強化に取り組む。

① 広報宣伝事業

機関誌の発行、専門誌への広告掲載等により、県内外のコンベンション主催者に鳥取県開催を働きかけるとともに、当財団の活動を紹介し、県内の関連情報を提供する。

② コンベンションまつり開催事業（コンベンションセミナー併催）

コンベンションまつりを開催して県民にコンベンションまつりの有用性を広くアピールし、併せてまつりを通じた地域の活性化に資する。

平成16年度の西部、平成17年度の東部に引き続き、平成18年度は中部で開催。

(5) 交流拠点である米子コンベンションセンターの効率的な管理運営

① 施設の運営方針

ア 交流人口の増加による地域の賑わい創出

国内外から誘致した大会・会議を成功させて、地域経済への波及効果や人的ネットワークの充実を惹起し、地域活性化の発信拠点を目指す。

イ 心豊かな地域を目指した文化・芸術の充実

県西部地区の文化の拠点施設として、高度な舞台・音響・照明設備と専門職員の能力を最大限に活用し、地域の文化・芸術のポテンシャルアップに努める。

ウ 利用者の安心と満足の追求

全ての利用者に公平な利用機会と安全で快適な利用環境を提供することを基本に、コスト感覚を持ちながら質の高いサービス提供に努める。

② 具体的な管理運営方針

ア 利用者サービスの充実

- ・ 利用料金の一部引き下げ、時間外割増料金の整理
- ・ 多目的ホールへの割引制度の導入
- ・ 利用申込みの受付時間を午後9時まで4時間延長
- ・ 利用者のニーズを敏感に捉えた提案型の打合せの実施
- ・ 時間外利用への柔軟な対応

イ 施設の利用促進

- ・ 誘致部と連携して、大会主催者に対するタイムリーな利用プランの提案と情報の提供
- ・ 新規利用の開拓のため、利用プランと標準料金を提案した小冊子での営業活動
- ・ リピート利用の促進のため、定期的なお得意様訪問の実施
- ・ 広報を充実させるため、イベントガイド、ホームページ等によるセンスある情報の提供

ウ 地域社会により密着した運営

- ・ 高校生に対する演劇ワークショップの開催
- ・ 地域の文化団体の作品展示等スペースの無料開放（期間限定・公募）
- ・ 学校等による施設見学への積極的な協力
- ・ 地域の公共ホールへの備品の無償貸出
- ・ 地域住民を対象にしたビッグシップ探検ツアーの開催

エ 安全で快適な利用環境の提供

- ・館内設備の維持管理、空調、清掃等の基本的業務を、高い水準で安定的に遂行する管理運営体制の構築
- ・火災、地震等の緊急事態への対応能力を高めるため、対応マニュアルの整備と職員への救急講習及び全館防災訓練の実施
- ・個人情報保護の徹底と情報公開への適切な対応
- ・廃棄物の排出抑制や省エネルギーへの対応など環境に配慮した会館運営

オ 会館運営の効率化

- ・組織、定数のスリム化及び給与制度の見直し、勤務時間の変更制度による時間外手当の縮減による人件費の圧縮
- ・外部委託業務について内容（業務仕様）と所要経費を精査し適正な料金の算出
- ・光熱水費の削減のため、冷暖房温度の設定や未利用箇所の消灯などキメ細かな制御
- ・職員に対するコスト意識の徹底

③ 米子コンベンションセンター強化プロジェクトへの取り組み

管理運営施策への取り組みを推進するとともに、各々の取り組みが連携し、相乗効果を発揮することを目標に組織横断でのプロジェクトチームを設置する。

- ・施設運営強化チーム
- ・営業企画強化チーム
- ・地域貢献活動推進チーム

④ 平成18年度の大規模催事

- ・放射線技師総合学術大会（10月6日～9日）
- ・スポレク鳥取2006（10月21日～24日）
- ・第4回鳥取県総合芸術文化祭「朝日座」（11月10日～14日）
- ・医学会（日本眼感染症学会、日本人類遺伝学会等）
- ・研究会（全国中学校理科教育研究大会、農業土木学会中国四国支部、日本芝草学会等）

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
支 出	I 管理費	53,750	57,342	△ 3,592	
	1 職員人件費	45,399	48,385	△ 2,986	
	2 会議費	986	357	629	
	3 事務局費	7,365	8,600	△ 1,235	
	II 事業費	59,699	44,135	15,564	
	1 誘致事業費	14,075	13,295	780	
	2 調査企画事業費	3,336	6,017	△ 2,681	
	3 広報宣伝事業費	3,913	5,283	△ 1,370	
	4 コンベンション開催助成費	38,375	19,540	18,835	
	当期支出合計(C)	113,449	101,477	11,972	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 予 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(特別会計)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 受託事業収入	240,270	195,180	45,090	
1 地方公共団体受託事業収入	240,270	195,180	45,090	
(1) 県受託事業収入	120,135	93,638	26,497	
(2) 米子市受託事業収入	120,135	101,542	18,593	
II 事業収入	86,192	88,406	△ 2,214	
1 施設利用料収入	86,192	88,406	△ 2,214	
III 雑収入	6,909	5,037	1,872	
1 割当光熱水費等収入	5,007	4,874	133	
2 雑収入	1,902	162	1,740	
受取利息	0	1	△ 1	
補助金等収入	0	40,838	△ 40,838	
地方公共団体補助金収入	0	24,203	△ 24,203	
県補助金収入	0	24,203	△ 24,203	
地方公共団体負担金収入	0	16,635	△ 16,635	
県負担金収入	0	3,960	△ 3,960	
市負担金収入	0	12,675	△ 12,675	
特定預金取崩収入	0	18,543	△ 18,543	
退職給与引当預金取崩収入	0	18,543	△ 18,543	
当期収入合計(A)	333,371	348,004	△ 14,633	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計(B)	333,371	348,004	△ 14,633	

